

<b>職業指導</b>		<b>講義</b>	<b>非常勤講師 和田 安弘</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>教職科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>25310201</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

この授業は、高等学校の商業の教員免許取得に係る必修科目となっている。授業においては、商業などの専門高校において職業選択、進路選択を支援するための職業（進路）指導について、理論と実践の両面から概説する。我が国の中等教育における職業指導は、歴史的に職業指導から進路指導へ呼称変更され、さらに児童・生徒から学生まで社会的・職業的自立に向けて、勤労観・職業観を育てるキャリア教育の充実が求められている。これまでの職業指導について振り返るとともに、進路指導・キャリア教育について現状を理解し、課題と展望を考察する。

### 2. 授業の進め方

基本的に講義形式を中心とするが、演習、調査・研究課題の報告や発表なども取り入れていく。

### 3. 授業計画

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職業指導とは</li> <li>2. 商業高校生の進路状況と進路指導</li> <li>3. 職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史</li> <li>4. 進路指導・キャリア教育の歴史的発展</li> <li>5. 職業選択とキャリア理論(1) (職業選択理論, 職業適応理論, 職業的発達理論)</li> <li>6. 職業選択とキャリア理論(2) (偶然理論, 意思決定理論, キャリアアンカー理論)</li> <li>7. 職業教育とキャリア教育</li> <li>8. 進路指導とキャリア教育</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. 進路適性の理解(自己理解・適性検査)</li> <li>10. 職業意識と勤労観・職業観</li> <li>11. 企業が求める人材像</li> <li>12. 労働と職業紹介に関する法律</li> <li>13. 主体的な進路選択と決定</li> <li>14. 進路指導とキャリア教育の充実</li> <li>15. 進路指導・キャリア教育の課題と展望</li> </ol>
--	---

### 4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに予習としてシラバスや参考文献をもとに下調べを行い、授業後は、指示された課題をレポートにまとめ提出する。この準備学習には2時間以上が必要である。

### 5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答などを説明する。また、指示された課題の提出後、評価して返却する。

### 6. 授業における学修の到達目

- (1) 学校における職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史を理解している。
- (2) 学校における職業指導・進路指導・キャリア教育の基礎理論に関する基本的な知識を身に付けている。
- (3) 学校における進路指導・キャリア教育において、生徒の進路選択・決定への支援方法を理解している。
- (4) 我が国の労働情勢や労働と職業紹介に関する法律を理解している。
- (5) 学校における進路指導・キャリア教育の課題と展望を考察できる。

### 7. 成績評価の方法・基準

定期試験(50%), 課題・レポート(40%), 授業への取組み姿勢(10%)

### 8. テキスト・参考文献

『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 商業編』文部科学省 実教出版 平成31年3月  
参考文献については次のとおり。

- ・『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について』中央教育審議会答申 平成23年1月
- ・『進路指導・キャリア教育の理論と実践』吉田辰雄・篠翰著 日本文化科学社
- ・『キャリア教育入門』三村隆男著 実業之日本社

#### **9. 受講上の留意事項**

- ・高等学校の商業科教員免許状を取得希望する学生は必修である。
- ・毎回の内容を積み重ねていく講義であり、欠席をしないようにすること。

#### **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、商業高等学校における実務経験を活かして指導する。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。